

蓄電池で電気の準備

SS向け防災ボックス提案



蓄電池で電気の準備

SS向け防災ボックス提案

グッドワン 大容量で小型家電も動く

SSキャノピー用のLED照明販売など手がけるグッドワンは、防災用蓄電池と各種防災用品、蓄電池充電用のソーラーパネルなどのソーラーパネルなどパッケージ化した防災ボックス「ちくでん君」シリーズを提案開始した。協力会社と広範な業種に対して共同提案をしていき、SS

向けは同社が専門で受け持つ。近年予測不能な災害が多発しており、そのなかで事業活動を妨げる要因として、大規模停電の問題がクローズアップされている。東日本大震災をはじめ昨年の台風15号被害でも、停電による深刻な影響が報告された。

災害対応としてSSでは、計量機など動かすための「非常用発電機」が活用される。しかし従業員の業務や顧客サポート面まで考えると、確保できる電源は多いほど好ましい。そこで注目されるのが、大容量化が進む「蓄電池」の活用方法だ。

同社のちくでん君シリーズは、防災用の大容量蓄電池と各種用品をパッケージ化し、公共施設などに配備されるAED（自動体外式除細動

器）のような収納ボックスにまとめたもの。蓄電池を充電する120ワットソーラーパネル、充電式LEDランタン／携帯LEDランタン、LED投光器、スマートフォン充電用ツール、携帯ラジオなどがセットになっている。収納ボックスは盗難防止ブザーつきだ。

防災用蓄電池は1500Wh（ちくでん君1500）と、500Wh（ちくでん君500）の2種類。小型家電も動かすことができ、1500Whタイプは連続稼働時間は冷蔵庫（90Wh）約15時間、32型テレビ（75Wh）約18時間、炊飯器（200Wh）約6時間、スマートフォン（5Wh）充電約270台分だ。

SS向けはセールスルームに配備することや、実用と宣伝（災害対応SSのPR）を兼ねた使い方を推奨している。同社は「東日本大震災でもスマートフォン充電器の使用を広く開放し、地域密着で評価をあげた企業があった。SSは災害時の最重要インフラであり、地域密着が強く求められる業種。災害時に必要な電気を準備する一手として、蓄電池が役立つはずだ」と強調する。



防災用蓄電池ボックスと内容物